

令和5年度岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」における
コンソーシアム活動の実施について

令和5年7月
産学連携推進課

県では、本県の強みであるもの作り企業と大学など関係機関により「スマート農業技術開発プラットフォーム」を設置するとともに、コンソーシアム（共同研究体）の構築を推進しています。

令和5年度においては、次のとおり野菜（いちご）に関するコンソーシアムを構築するとともに、その活動を支援することで、生産現場における課題解決を目指します。

区分	コンソーシアム①	
作目	いちご	
課題名	CO2モニタリング装置等の自作による、環境制御装置の効果的な活用方法の実証	
活動の場所	倉敷市内	
事業の目的	いちごの施設栽培において、収量向上や品質向上のためにCO2発生装置を導入する生産者や養液栽培が増えてきている。環境制御装置を設置しリアルタイムで施設内の温度や湿度と同様に、二酸化炭素濃度、養分濃度などを測定し、その結果を栽培管理に反映させることが必要だが、そういったモニタリング装置の導入には費用が多くかかり十分に組み合わせていない現状がある。そこで、自作できるCO2モニタリング装置及びECモニタリング装置を製作し、環境制御に活用することで、環境制御装置の効果的な活用方法について実証する。	
コンソーシアム 構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社タマテック ・備南広域農業普及指導センター ・倉敷地方イチゴ研究会生産者 ・岡山県農林水産総合センター 	
参加 企業 の 概 要	企業名	株式会社タマテック
	所在地	倉敷市亀山
	業種	電子機器製造業
	現有技術 (シーズ)	CO2センサー測定プログラム 外部機器の制御機能プログラム及びインターフェイス